

みらい

Vol. **11**
2006.7

金沢市医師会方式による がんの個別検診

病気の原因や病態が
わからず困ったときには漢方！

子宮がん検診を受けていらっしゃいますか？
子宮がん検診のすすめ

～2名の方が参加されました～
ふれあい看護体験

撮影時間を短縮、被爆量も低減、高精細な画像
高速マルチスライスCT導入！

禁煙プログラムが保険適応になりました。
禁煙外来からのお知らせ

平成18年 糖尿病教室予定

「お年寄り地域福祉支援センターくらつき」
からのお知らせ



バジル Basil

- 科名 シソ科
- 原産地 熱帯アジア
- 草丈 約40～50cm
- 使える部分 葉、茎、種子
- 用途 料理、サラダ、ティー、入浴剤

06年W杯で優勝したイタリアでは‘バジリコ’の名前で親しまれる1年草のハーブ。食欲をそそる強い香りが魅力で、フレッシュのままサラダやパスタ、ピザなどの料理にぴったり。葉は熱を加えると黒くなってしまうので、食卓に運ぶ前にそっとのせましょう。

金沢市医師会方式による

がんの個別検診

『すこやか検診』は全国的に高い評価

金沢市医師会では金沢市からの委託事業として市内の各医療機関でのがんの個別検診『すこやか検診』を行っている。がん検診の種類は、肺がん、胃がん、大腸がん、子宮がん、乳がん、前立腺がんである。この個別検診のメリットとしてはわかりつけ医を利用したこととで受診者の利便性もあり、受診率向上に大きく寄与した。筆者も胃がん、大腸がん検診に発足当初より関係してきた。

これまでわかりつけ医が漫然と行なってきた検診を見直し、平成2年よりの個別検診の精度管理の徹底を図るため医師会や学術関係の有識者による会議を頻回にもち一定の結論を導いた。その1つが各医療機関の胃×線撮影の均一化

もう1つは個別検診に参加する医師会員と専門医で構成

される医師会読影委員会を毎週持ち、全ての×線写真を医師会館で読影することなどを決め、ダブルチェック、レフリー判定の3段階の2次読影、そしてレフリー判定の最終結果を受診者へ報告する。毎年、検診実施期間は5月から10月までとし、この期間であれば何時でも受診ができる。

平成5年から16年までの12年間の延べ総受診者は、10万6千人（金沢市の対象人口の15パーセント）、発見胃がんは193名、その6・7割は早期の胃がんであった。金沢市医師会の特徴は、3段階のチェックを行い、要精検率を5パーセント台に抑えながらも

高いがん発見率を示したことである。金沢市医師会は、この検診システムの導入により実施医療機関の参加意識が高まり、撮影技術や読影技術は著しく向上することも、地元の大学病院や大病院の専門医の積極的な参加により、病診連携という面からも有意義なシステムと考えられる。

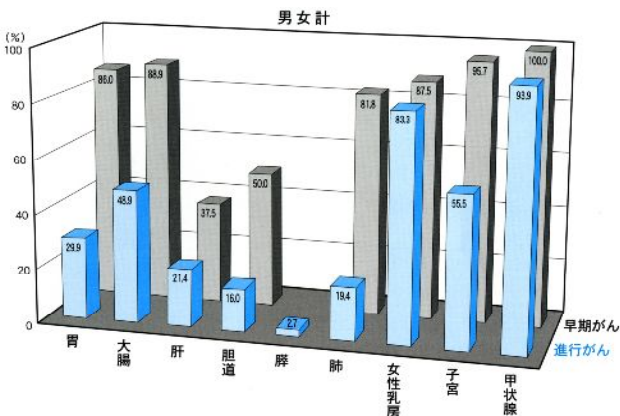
この金沢市医師会主導型の『すこやか検診』は、全国的にも類のないユニークなものであり、学会へは毎回その成果を発表し、学会参加者より高く評価された。個別検診の成功例として全国的に注目されるようになった。平成9年には金沢市医師会の肺がん・胃がんの個別検診が評価され、日本医師会最高優功賞を受賞したことも検診事業を遂行する上での大きな励みとなっている。

検診事業には莫大な費用がかかる。金沢市は、この検診事業に大きな理解を示し、全国的にも桁外

れの7億5千万円〜8億に近い高額の委託検診を行い、予算面の大きなバックアップをしている。このように個別検診を成功させるには、医師会員、専門医、そして行政との密な連携と協力体制が不可欠なのである。

名誉院長・内視鏡センター長
磨伊 正義
(金沢市医師会すこやか検診
胃×線レフリー委員長)

進行度別の5年生存率



出典：石川県におけるがん登録（平成14年標準集計・平成10年罹患生存率集計）

どんなときに漢方？

病気の原因や病態がわからず困ったときには漢方！

苦しいところがあってせつかく病院にかかっても、異常ありませんよ、心配いりませんよと言われたことはありませんか？

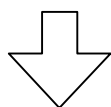
『32歳（女性）の事務員の方ですが、2年前の春に左胸に痛みを感じるようになりました。翌年10月には左前胸部から背部にかけて帯状の鈍痛やヒリヒリした痛みと微熱が出現するようになり、3つの総合病院、2つの大学病院を受診し、いろいろと検査しましたが原因がわかりませんでした。悶々とした日々が続き、某大学病院神経内科から漢方治療を勧められ受診されました。詳細な入院検査結果など資料が紹介状とともに同封されていましたが、結局原因は不明とのことでした。漢方医学的には「表寒虚証（ひょうつかんき

よしよう）」という状態で桂枝加朮附湯（けいしかじゅつぷとう）を処方しました。5日間服用して微熱が出なくなり、約4週間の服用で痛みも2割程度となり、もとの事務職に復帰することができました。』

この患者様のように現代医学的には異常がなく治療法が見つからなくとも漢方医学で活路が見出される場合もあります。病気の原因が分からない疾患や明らかかな病態の見いだせない場合、そのほかに病気の原因や病態は分かっているも治療法の確立していない場合や副作用などで現代医学の治療が困難な場合なども少なくありません。そんなときに漢方治療を試して頂きたいと思います。



検査で異常がないといわれても・・・
どうして痛むのかな？



現代医学、漢方医学のいずれの治療法が自分に合っているのか？迷われたときには一度、漢方診療科を受診してみてください。個々の患者様に合った治療法をアドバイスしたいと思います。

和漢診療部長

（内科・漢方診療科）

古田一史（こうた かずふみ）

西洋医学と漢方医学の利点を生かし、全人的医療を目指したい。

- 富山医科薬科大学卒業（1986年）
- 富山医科薬科大学附属病院和漢診療部（入局1986年、助手1994年）
- 富山大学医学部和漢診療学講座（助教授2002年～2004年）



子宮がん検診のすすめ

子宮がん検診を受けていらっしゃいますか？

5月から、金沢市のすこやか検診が始まりました。そこで、子宮がん検診について説明したいと思います。

子宮がんは、できる部位によって、子宮頸がん（子宮体がん）と子宮頸がん（内膜がん）の2種類があります（図1）。同じ子宮のがんであっても、子宮頸がんと子宮体がんは、診断・治療・予後においてすべて異なります。金沢市のすこやか検診で行われるのは、子宮頸がんの検査です。子宮体がんについては、症状のある方が医療機関を受診されて、検査を受けることになりました。

まず、子宮頸がんについてお話いたします。

子宮頸がんは子宮がん全体の80～90%を占め、20歳代から増え始め、30～50歳代に多いがんです。最近では20～30歳

代でかかる人が増えています。がんの罹患率の順位でみると子宮がんは、25～34歳の女性では一番、35～54歳の女性では、乳癌について2番目に多いがんです。

子宮頸がんは子宮の膣に近い部分、子宮の出口（外子宮口）付近に発生するがんです。婦人科の診察でこの部分を観察し、綿棒またはハラのようなものでこすって細胞を一部採って検査します。がん細胞は正常の細胞と異なったかたちをしています。細胞をガラス板に塗り、色素で染めて顕微鏡で見ますと、がん細胞を見つけることができます。この診断法を細胞診といいます。この方法は簡単に痛みもほとんどありません。がんにな

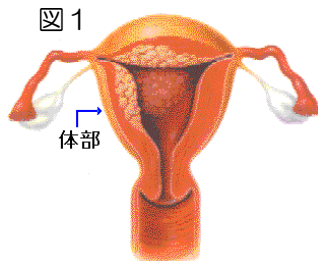
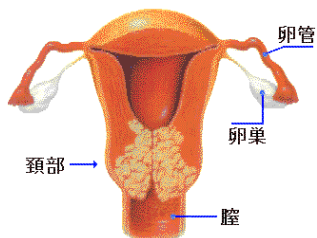


図1

る前の段階の正常でない細胞も診断することができます。初期のがん、とくにがん細胞が上皮内にとどまっている場合は、その部位だけを切除することで治療することができます。だから、早期発見が重要なのです。

初期の子宮頸がんでは、全く症状がないのが普通です。細胞診の検査によって、がんの早期発見が可能となります。婦人科の症状がなくても、年に1回子宮がんの検診を受けることをお勧めします。がんが少し進行するとはじめの症状としては、月経でない時の出血、性行為の際の出血やふだんと違うおりものが増えたりします。他に月経の量が増えたり長引いたりすることもあります。

また、子宮頸がんの多くは、ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が関係していることがわかってきました。そこで、金沢市の子宮がん検診では、細胞診と子宮頸部の細胞のHPVのDNAの有



婦人科 土屋 百合

検査は簡単で、すぐ終わります。症状がなくても、定期的に検診を受けましょう。

無を調べることを組み合わせること、子宮がんの検診の見落としを防ぐ試みをしています。検診の際には同意書に署名をいただいております。

金沢市のすこやか検診では、20歳以上の女性で、偶数歳（20歳、22歳、24歳…）の方の受診となります。該当される方は是非、この機会に、その方以外でも、ここ数年検査を受けていらっしゃらない方は、億劫がらずに受診されることをお勧めします。

次回は、子宮体がんについて、説明いたします。

ふれあい看護体験 ～2名の方が参加されました～

『看護の日』を記念し、患者さんとふれあい、看護する喜びや人の命の大切さを考える機会として『ふれあい看護体験』が行なわれました。

当院には5月12日(金)に、一般・高校生(2名)の方が参加され、清潔介助・食事介助・車椅子での移送介助・リハビリ見学・患者様とのコミュニケーションなどの看護体験を行いました。

体験後の感想としては、患者様・職員の笑顔がとても素晴らしい、自分の手で口から食べられることの幸せ、生きていることのすばらしさを実感したとの感想がありました。

また、高校生は、医療福祉関係へ進みたいとのことでもよい経験が出来たようです。

看護部長

足島 知恵子



患者さんの笑顔、いきていることのすばらしさを実感しました。

高速マルチスライスCT導入！

撮影時間を短縮、被爆量も低減、高精細な画像

当院では、平成18年7月に、最新鋭のマルチスライスCT装置(シーメンス社製)を導入しました。

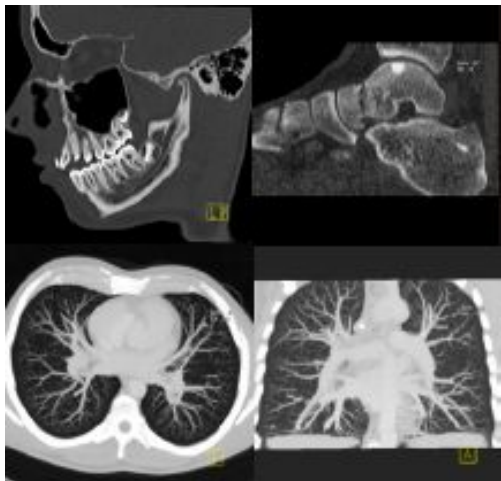
従来の装置では不可能だった撮影時間の短縮と薄いスライス厚での撮影が可能となりました。さらに従来の装置よりも高精細な画像が得られ、データ処理により立体的で精密な三次元画像(3D)を作成・観察することが出来ます。

1回転で複数の画像が得られることから15秒程度の1回の息止めで検査部位の撮影が可能となりました。

今回導入しました装置には体格にあわせて無駄なX線を照射しない機能を装備していますので、今まで以上に少ない被爆線量で検査を受けて頂けます。このマルチスライスCT装置によって、検査をお受けになられる方の負担軽減を実現し、より詳細な情報を提供することが出来ます。



詳しい検査内容はお気軽に医師や職員におたずねください。



3次元画像

禁煙外来からのお知らせ

タバコをやめたくてもやめられないあなたに……

医師と共に実現する禁煙プログラムが 保険適応になりました。

禁煙がむずかしいのは、「ニコチン依存」と「心理的依存」のふたつの依存のためです。

この両方を根本から解決する必要があります。

タバコをやめたくてもやめられないなどお悩みの方は、ぜひ当院の禁煙外来をご利用下さい。

診察日	月	火	水	木	金	土
	9:00~12:	9:00~12:	9:00~12:	9:00~12:	9:00~12:	9:00~12:
担当医	前田	毛利	八田	舘・小島	前田	尾山

《料金について》

禁煙治療に関しては患者様の状態に応じて保険診療が適応されます。(7月1日より)
詳しくは受付までご相談ください。

映寿会みらい病院 予約専用 076-237-8231

予約受付時間 午前9時から午後5時(月から金曜日)

午前9時から午後3時(土曜日)



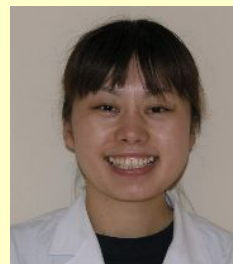
平成18年 糖尿病教室予定

9月 9日(土)	午前11時~12時
10月14日(土)	午前11時~12時
11月11日(土)	午前11時~12時
12月 9日(土)	午前11時~12時

* 場所/当院外来 サロン「メイ・キッス」

~栄養指導部からのお知らせ~

8/25 夜間糖尿病教室と 10/28 バイキングを予定しています。なかなか昼間病院に来ることが出来ない、糖尿病の食事がよく分からない、家族が糖尿病だけどうしたらよいのか等糖尿病に興味のある方は是非ご参加ください!



管理栄養士
竹田 宏美

「お年寄りの地域福祉支援センターくらつき」からのお知らせ

平成18年4月より、金沢市内に高齢者福祉や介護に関する公的相談窓口として、19カ所のお年寄り地域福祉支援センターが設置されました。「支援センターくらつき」では鞍月・栗崎・大野・金石地域を担当しています。

【主な業務】

◆ 総合相談支援

高齢者のみなさんやその家族、地域住民の方などから様々な相談を受けます。電話や個別訪問などにより、どのような支援が必要かを把握し、必要な情報を提供したり適切なサービスにつないだりします。

◆ 権利擁護

高齢者虐待への対応、悪質な訪問販売等による消費者被害の防止、成年後見制度の活用などにより、高齢者のみなさんの権利を擁護します。

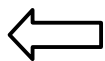
◆ 介護予防ケアマネジメント

平成18年4月から介護保険制度が変わりました。

① 症状が軽度で「要支援1・2」と認定された方は、状態がそれ以上悪化しないように『介護予防サービス』を利用します。

② また、介護認定が「非該当」という方の中でも生活機能が低下している方を対象として（対象者はすこやか検診で行われる生活機能評価により把握）、要支援・要介護状態になるのを防ぐために『介護予防事業』が行われます。

〔●筋力向上 ●栄養改善 ●口腔機能の向上 ●認知症予防 など〕



①②のサービスの適切な実施のために、支援センターにおいて「介護予防サービス・支援計画（ケアプラン）」の作成を行い、サービス実施後に効果を評価し、必要に応じてメニューの見直しを行います。

専門職が連携して取り組みます！

【お問い合わせ】

お年寄り地域福祉支援センターくらつき

金沢市鞍月東1-9

TEL：237-8063

FAX：237-8186

お気軽にご相談ください。



主任ケアマネジャー
山本 憲一



社会福祉士
加藤 美千代



看護師
池本 明子

理念

人が心身ともに健康で楽しく長生きできるよう手助けをする

基本方針

1. 医療を受ける人々の権利の尊重
医療を受けるすべての人々の生命・尊厳・人権を尊重する
2. 質の高い医療の普及
西洋医学・東洋医学を結集し、科学的且つ質の高い医療の普及に努力する
3. 最善の治療へのたゆまぬ努力
常に医療の研鑽、向上に努め一人一人の個性を尊重した最善の治療を行う
4. 地域医療、福祉との連携
生活習慣病および高齢者医療に重点を置き、地域の医療福祉機関と連携する
5. 地域社会への貢献
社会的責任を自覚し、地域とそこに暮らす人々の幸福のために貢献する
6. 教育と研修の充実
医療に関する教育・研修を充実させ、職員が誇りと生きがいを持てる職場とする

総合的な健康づくりをお手伝い

医療法人社団 映寿会みらい病院



新規採用職員のオリエンテーション講義がおこなわれました。

新人スタッフ紹介

今年度は、200名の新採用職員を仲間
に迎えることができました。
映寿会みらい病院、みらいのさと太陽
の職員として成長できるよう日々取り
組んでいます。

診療科目

内科・外科・神経内科・リハビリテーシ
ョン科・循環器科・放射線科・消化器科・
肛門科・泌尿器科・呼吸器科・皮膚科・
アレルギー科・婦人科・リウマチ科・東
洋医学診療科・内視鏡センター・健診科

診療時間

月～金 ■午前9時～午後5時
(受付/午前8時50分～12時・午後1時30分～4時45分)
土 ■午前9時～午後3時
(受付/午前8時50分～12時・午後1時30分～2時45分)

病床数

150床(一般病床38、療養病床112)

金沢市鞍月東1丁目9番地
TEL(076)237-8000 FAX(076)238-7624
ホームページ <http://www.eijukai.jp/>
映寿会みらい病院の情報が満載です。ぜひアクセスしてみてください。

ご案内図

